

みんなで考えよう介護保険! みやぎ県民フォーラム2019

日時▶2019年12月14日(土) **参加費:無料**
午後1時～午後4時半(開場12時半)
会場▶エルパーク仙台ギャラリーホール
講師▶林 泰則氏(全日本民医連事務局次長)
主催/みんなで考えよう介護保険!
みやぎ県民フォーラム2019実行委員会
TEL:022-388-9968 宮城厚生福祉会本部

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
仙台市青葉区木町通1-8-18
〒980-0801 田村ビル5F
TEL 022-265-2601
FAX 022-263-8266
e-mail:dai@miyagi-min.com
発行人 坂田 匠
1日・15日 月2回発行 1部50円

第38回全国青年ジャンボリー

職場、職種、国境を 超えて大いに学びあった

セントラルキッチン 管理栄養士 小野 夏海



同じグループの人たちと

私は入職して3年目になります。1年目は全国JB in福島へ、2年目は東北JBで宮城県の松島へ、そして今年3年目は全国JB in岐阜への参加となりました。このJBへの参加を機に、とても成長したなあと自分自身が実感しています。

私の班には、韓国のグリーン病院からの参加者がおり、SDGの際には、国境を超えた意見交換を

することができました。韓国では、兵役があります。韓国からの参加者の男性は皆兵役を経験しています。戦争が勃発したら、男性だけではなく、看護師も兵隊と一緒に戦場に行くことになります。グリーン病院からの参加者もSGDでそのことについて言及しており、その時の表情は、兵士として、看護師として、戦場に行かなければならないのだ、と覚悟を決めたような表情で、とても印象に残りました。

それと対比して、憲法に守られ、平和であることが当たり前の生活をしている私の意見は、臨場

感がなく、どこか他人ごとのような感じがし、少し恥ずかしさを感じました。私たちの生活を守る憲法が今、改悪されようとしていることに興味を持つこと、自分事として考えることの重要性を知ることができました。

2日目の弁護士、白神優理子氏からの講演を聞いて、私が生活するうえで絶対に譲れないのは「個人の尊厳」であると考えました。

今回のJBは、学習に講義にSGDと、大忙しの3日間でしたが、職場を超えて、職種を超えて、さらに国境まで超えた充実した議論をすることができ、参加して本当に良かったと思っています。今後のJBも、若い世代の人にぜひ参加してほしいと感じました。

誰かの命令で自己を決定されるのではなく、国のために自分が存在するわけでもなく、自分が個人として認められ、自由に表現できる世界に生きたいと考えました。

実際に憲法の中で一番数が多いのは、「人権」という言葉です。個の尊厳は憲法13条に定められ、それを達成するための手



薬学生のみなさんと

段として憲法9条(殺さない・殺されない)と憲法25条(健康で文化的に生きる権利)があるのだという位置関係も学ぶことができました。

平等な医療を提供する民医連職員として働くことは、平和を守ることにつながります。文化的、経済的、社会的な側面からのさまざまな人の「人権」を考え、そして守る私たちの仕事は素晴らしいと感じることができました。

今回のJBは、学習に講義にSGDと、大忙しの3日間でしたが、職場を超えて、職種を超えて、さらに国境まで超えた充実した議論をすることができ、参加して本当に良かったと思っています。今後のJBも、若い世代の人にぜひ参加してほしいと感じました。

今回のJBは、学習に講義にSGDと、大忙しの3日間でしたが、職場を超えて、職種を超えて、さらに国境まで超えた充実した議論をすることができ、参加して本当に良かったと思っています。今後のJBも、若い世代の人にぜひ参加してほしいと感じました。



松丘保養園副自治会長の話を聞く

9月28日から9月29日にかけて北海道・東北地協薬学生の集いにて、ハンセン病の学習のために薬学生とともに青森県を訪れました。知識不足で大変お恥ずかしいですが、ハンセン病はその名前しか知らず、このような機会があるまで疾患から治療薬、そして差別別的な政府の対応や村八分にされた歴史があることを全く知りませんでした。

到着後、松丘保養園副自治会長よりハンセン病の発症から気持ちの変化、これまで経験した差別などを詳しく話して

ただきました。13歳の時、突然ズボンが普通に脱げなくなり、膝には大きな傷、しかし痛みや痒みを全く感じないといった症状から始まりました。その後「ハンセン病」と診断を受けショックで何も言えない、蒸気機関士の夢がなくなったといった悲痛な心境の変化。さらには小学校教員から母親宛に中学校入学拒否の手紙。本人だけではなく、実の妹がいじめを受けていたことが苦しかったと話されていました。その中でも特に印象的だったのが、15歳で施設へ入所する際に何かと差別を受け苦労があるからという理由で、名前を変えることを強いられました。

あつた聞き、あまりにも衝撃で、その場にいた職員や薬学生一同息をのみました。政治的背景としては、昭和28年に患者たちの猛反対を押し切つて「らい予防法」が成立し、ハンセン病患者への偏見と差別に拍車がかかったとされています。ハンセン病を理由に隔離施設に収容され、治療し社会復帰できるのにも関わらず、この法律によりハンセン病患者の人権が守られず、偏見と差別を受け続けました。

今回の学びと経験を通して、根拠のない情報や噂話を信じるのではなく、正しい知識と思いやりを持った行動をすること、その歴史を知り誰かに伝えることが最も重要であると感じました。一人の医療人としてこの事実の理解を深め、家族や友人、職場の方々にこの事実を知らせていきたいと思っています。



納骨堂に献花を行い、参加者で手を合わせた

健康手帳

2014年4月より、宮城厚生協会からみやぎ県南医療生協へ移籍して早いもので5年が経過した。▼生協という組織は、今までの「友の会」の皆さんと向き合う姿勢と異なる部分も多く、驚きとともにその力強さを感じた。組合員は、それぞれの支部を主軸に出資金積立や組合員増やし(仲間ふやし)に奮闘し、医療生協の大きな支えとなっている。当法人は平成7年7月7日、約2,000人の組合員を集め、この地に民主的な医療機関を創ろうと始まった。現在組合員数は6,000人を超え、柴田町の約25%の世帯が加入する大きな組織となっている。▼そんな中、2018年度の柴田町は、介護認定者数が前年度より588人増えている一方でケアプラン数は416件と減少しており、当法人のデイサービスも経営的に厳しい状況になっている。介護認定をうけても施設を利用しない方が増えている。

▼老後に2,000万円必要だと誰かが話したことも影響しているに違いない。定年後の自分は大丈夫だろうか?働かないと食べてはいけない年金。とにかく、今をめいっぱい自分らしく生きていくことが大事だと思う。仲間と一緒に!

「働くもののいのちと健康を守る」 2019年第13回東北セミナーin盛岡 パワハラ背景に ゆとりのなさや充滿したストレス

坂総合病院 保健師 鈴木 理恵

10月19日、岩手産業会館において、働くもののいのちと健康を守る第13回東北セミナーが行われました。講師含めて72名の参加でした。

土(もり)おか法律事務所より職場のハラスメントについての記念講演がありました。

午後の部は分科会で①メンタルヘルスに関すること、②健康で働き続けるために(主に法律に関すること)、③女性や若者の働き方と健康、についてそれぞれ講演いただきました。

記念講演では、職場のいじめ・嫌がらせ相談件数は2000年代に入り急増し、かつては、残業・解雇・退職、労働条件の切り下げ・賃金不払の順に多かった相談件数が、現在は

ハラスメントが第1位となり職場の4大トラブルの1つになったと報告されました。

ハラスメントは、被害者(主に女性)に精神的・肉体的な苦痛を与え、結果として休職や退職などを招きます。職場への影響として職場の雰囲気や人間関係の悪化、仕事の能率の低下などを生み出し、組織としても離職率の上昇や生産性の低下を招き、企業の信頼低下等の社会的ダメージを受けることもあるそうです。

反対に支援と自己決定権がある職場では、パワハラ認知度が低くなる

講演する佐々木良博弁護士

パワハラは「職場・原因にはいくつもありますが、特に印象的だったのは、ゆとりがなくストレスが充満した状態を背景とするものです。業績不振や休みが取れない、長時間労働、残業、職場環境を悪化させる行為」だそう

労働、残業の連続などで職場内に過剰なストレスがたまり、人間関係のもつれが生じたりすることがパワハラへと繋がるそうです。

ハラスメントは、被害者(主に女性)に精神的・肉体的な苦痛を与え、結果として休職や退職などを招きます。職場への影響として職場の雰囲気や人間関係の悪化、仕事の能率の低下などを生み出し、組織としても離職率の上昇や生産性の低下を招き、企業の信頼低下等の社会的ダメージを受けることもあるそうです。

市民のつどいを開催しました。昨年同様、歯科などでも相談、口臭・口腔

第10回 いい歯デー市民のつどい

なんでも相談で 歯への関心の高さに驚いた

松島海岸診療所 歯科医師 小島 健

と報告がありました。働き続けていく職場に必要なことは、「ゆとり」「支援」「決定権」「コミュニケーション」「職場環境

の整備」であると学びました。最近、健康管理室へ配属となり、労働安全衛生委員として職場巡視への

参加や残業時間などの実状を知り、ゆとりのある職場づくりや支援体制構築など今回の学びを生かしていきたいと思います。

受けました。また今年はCOOP共済の、オリジナルキャラクター「コーすけ」が登場し、子ども達と記念写真を撮るなど会場を大いに盛り上げてもらい、盛況のうちに無事に終えることができました。

現代はインターネットで歯に関する様々な情報を簡単に調べることができ、その時代ですが、口の中の環境はそれぞれ違い、治療法もまたそれぞれ違います。一人一人の患者さんに合った治療を提供し、納得して安心して頂けるまでしっかりと話すことの大切さに、私自身改めて気付く会となりました。

会場は、昨年同様AER1階アトリウムで、開始早々からたくさんの方が参加され、新聞等で事前に知り来場された方もいらつしたようです。私は歯科なんでも相談に関わらせて頂きまし

た。相談内容はむし歯だけでなく、歯周病、義歯、無呼吸症候群のマウスピースなど様々で、歯への関心の高さに驚かされました。なかでも自分自身の歯の治療にどのようなパターンの治療があるのかもと知りたいたいの声もあり、相談を終えた後に、「来てよかった、来年もこのような会を開催して欲しい」という声まで

た。今後このような活動を継続していきたいと思っています。

①伊藤節子②1979年③坂病院医局事務④機関紙・共同組織⑤福島県⑥多賀城市の編み物⑦よろしくお願ひいたします。



相談コーナー

県連に中川恵介さんと伊藤節子さんが、着任しましたので紹介します。

県連職員紹介



①中川恵介②2011年③坂総合病院組織課④医学生担当⑤塩釜市⑥多賀城市⑦買い物・コイン⑧1年半ぶりに戻ってきました。諸事情により短い任期となりますが、宜しくお願いします！



連載 99

私の好きな憲法は何条?

宮城民医連 医学生委員会 小野寺 知洋

日本国憲法の成り立ちから前文・各条文を見直しました。日々の業務の中で最も大切なと感じた条文がありましたので紹介したいと思います。

第二十六条「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。」

医学生担当として毎年100名を超える多くの医学生と接してきて、教育を受ける権利の重要性を肌で感じています。

現在の医学部受験を取り巻く環境は激変しているといっても過言ではありません。

医学部受験は以前から厳しいものでしたが、ここ数年はより超難関受験になってきていると言われています。医学部の定員は増えましたが、それを上回るほどの高い競争率となっており、医学部受験は他の学部と比べても突出して難関と言われていると思います。

また大学によって偏差値などの差異がほとんどなく、わずかに1点差が合格を分ける熾烈な競争が展開しています。医学部生は、そうした過酷な状況の中を戦い抜いてきた経緯をしています。

そのような中、2020年度から始まる予定の大学入学共通テストで活用される英語の民間試験について、萩生田文科科学相が「身の丈に合わせ」と発言しました。英語民間試験とは、受験生が英検など7種類から受ける試験を選び、原則として高校3年生の4月から12月に受けた2回までの成績が大学に提供される仕組みのことを言います。各試験の実施日程や場所など詳細が明らかに

医学生に説明している筆者



【問題】上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります！どこでしょう？(作・野上和彦)



クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていただきます。応募資格：臨時・パート含む県連職員。締切12月4日当日消印有効。発表2020年1月1日。10月1日号客スエラジオタイム(ラジオ体操)応募総数11件。当選者：吉岡文/泉病院。坂本正子/十軒風の音。村上君枝/田子のまち。阿部成美/つばさ薬局多賀城店。菅原由美/くりこまの里。(敬称省略)